

泌尿器科からのお知らせ

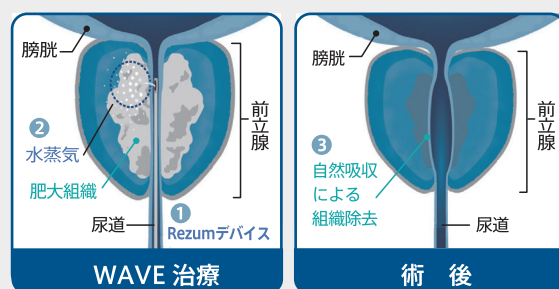
前立腺肥大症に対する Rezum システムを用いた経尿道的前立腺水蒸気治療（WAVE 治療 = Water Vapor Energy Therapy）についてご紹介します

■こんな症状でお悩みではありませんか？

主な症状	尿勢低下	排尿困難
頻尿	夜間頻尿	残尿感

■Rezum を用いた水蒸気治療 WAVE は、水蒸気を利用して肥大組織を治療、自然吸収により組織を退縮させ、尿道を広げる治療です。

WAVE 治療の流れ



「尿の勢いがなくなった」「尿がでにくい」「残尿感がある」「頻尿」「尿漏れ」などの症状にお困りの患者さんはおられませんか？これらの排尿症状の原因が、前立腺肥大症によって狭くなった前立腺部尿道にあるかもしれません。

当科では前立腺肥大症に対する新たな治療法の経尿道的前立腺水蒸気治療(WAVE治療)を導入しました。前立腺内部に高温水蒸気を噴霧することで組織が壊死を起こし、ゆっくり尿道が広がるシステムです。手術時間が短く出血量が少ないため、合併症のない方はもとより、心臓病や脳梗塞に対する抗血栓薬を内服中の方や高齢・認知症の方にも可能です。

ただ効果が出るまでに時間を要し、術後尿道カテーテルを留置することもあることをご了解ください。手術時間は30分程度・入院期間は4～7日です。大きな前立腺肥大症には従来どおりの尿道的ホルミウムレーザー前立腺腺腫核出術(HoLEP)を、比較的小さな前立腺肥大症には経尿道的前立腺水蒸気治療(WAVE治療)を分けてお勧めいたします。

Rezum システム
WAVE (Water Vapor Energy Therapy)

Rezum 治療の 3 つの特徴

- ①水蒸気を持つ水蒸気エネルギーを熱源
- ②対流により、効率的に熱を伝達
- ③解剖学的領域内にとどまる標的治療

WAVE 治療 手技

WAVE 治療効果
術後6か月時点での比較

治療前	術後6か月

腹部ヘルニアセンター開設のお知らせ

当院では、ヘルニア手術を専門とする「腹部ヘルニアセンター」を開設します。主に、鼠径部ヘルニアや腹壁(瘢痕ヘルニア)、臍ヘルニアを対象とし、専門的な診断と治療を提供します。心臓などに重い合併症がない方には、

全身麻酔下での腹腔鏡手術を実施し、低侵襲で痛みの少ない治療をめざします。その他の方にも専門チームが患者さん一人ひとりに最適な治療を提供し、安心して手術を受けていただける環境を整えてまいります。

指定管理者制度で管理運営をスタート

2025年4月1日から、指定管理者制度により、医療法人協和会が箕面市立病院を運営します。指定管理開始後も、公立病院としての役割や診療内容等は変わりません。

また、大阪大学医学部との連携体制もなら変わることなく、これまで以上に医療の充実・強化を図っていきます。

2025年4月以降も変わらず各科受診いただけますので、引き続きご紹介いただきますよう、よろしくお願いいたします。

地域医療室も変わらず対応します

診察・検査 平日 ▶午前8時45分～午後7時30分
予約受付時間 土曜日 ▶午前9時00分～午後1時00分

電話 ▶072-728-2177 ※地域医療室直通
FAX ▶072-728-8475 ※全日24時間受付可

検査予約はWebでできます

ご利用には別途システム設定が必要です。



箕面市立病院

Community
medicine

みのりーふ

2025.3.
No.7

発行／箕面市立病院 地域医療室 〒562-0014 箕面市萱野5-7-1 TEL:072-728-2177 FAX:072-728-8475

2025年4月 乳腺センター 開設

2025年4月より、兵庫医科大学乳腺内分泌外科、三好康雄教授が着任します。三好教授は長年乳がんのリスクファクターや薬物療法の感受性予測などの研究をされています。

箕面市立病院では、乳腺センターを立ち上げ、三好センター長のもと最新の薬剤治療などが提供できるよう体制を整え、乳がんをはじめとした乳腺疾患の治療の充実に努めます。



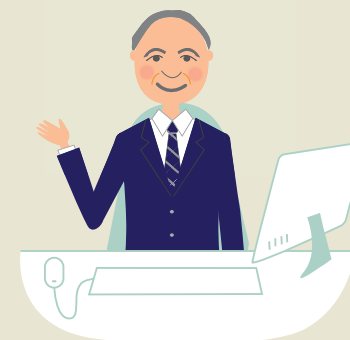
乳腺センター
山本仁
外科特任部長

乳腺センター長
三好康雄
病院長補佐

乳腺センター
阿部かおり
外科医長

三好センター長からのメッセージ

乳がんは今もどんどん新しい薬が出てきており、治療成績も飛躍的に改善しています。それらをいち早く患者さんに提供するとともに、乳がんになっても、もに近い生活を送っていただけるようにサポートしてまいります。乳がんの診療には手術だけでなく薬物療法など内科的な診療も重要です。また多職種による連携もかせないものです。地域の先生がたとえさらなる連携をさせていただき、治療に当たっていききたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



profile

三好康雄センター長 経歴

- 1984年 大阪大学医学部医学科卒業 大阪大学第2外科、大阪府立成人病センター、箕面市立病院(1987～1988)、英国王立癌研究基金留学、大阪大学乳腺・内分泌外科などを経て
- 2007年 兵庫医科大学 乳腺内分泌外科 准教授
- 2009年 兵庫医科大学 乳腺内分泌外科 教授
- 2025年 箕面市立病院 病院長補佐・乳腺センター長 就任予定



■ 所属学会・資格

日本外科学会 外科専門医・指導医
日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医

■ 役員歴

日本乳癌学会 理事（2014-2022年）
ホルモンと癌研究会理事（2017-2023年）

■ 会長歴

第20回 ホルモンと癌研究会会長（2019年）
第30回 日本乳癌学会学術総会会長（2022年）
第31回 乳癌基礎研究会会長（2023年）

■ 研究テーマ

- 乳癌のリスクファクターの同定
- 乳癌薬物療法感受性予測
- 乳癌における免疫応答

■ 研究実績

- 平成12年度厚生労働省がん研究助成金 主任研究者
乳がん・大腸がんの家族内集積性に関する研究
- 日本乳癌学会第10回（2004-2005年）班研究班長
化学療法感受性予測因子の開発に関する研究

三好センター長に聞きました

Q 医師を目指したきっかけはありますか？

小学生の低学年のころ、祖父ががんで亡くなったことです。手術やその治療でずっと病院にかかっているのを身近で見ていたことがあって、患者さんを救いたい、自分で治したいと思ったのがきっかけでした。

Q なぜ乳腺外科を選ばれたのですか？

手術に興味があったので外科を選びました。当時はまだ専門に分かれておらず一般外科として外科を全般的に経験し、その後大学の研究機関で大腸がんの研究をしていました。
臨床に戻るときに研究も続けることができ、内科的な薬物療法もできる外科が希望で、すべてができる診療科が乳腺外科でした。

Q 乳腺外科の医師としての強み・アピールポイントを教えてください

兵庫医科大学で乳腺外科医として17年間務めたということです。大学ならではの最先端の医療に取り組むことを心掛けてやってきました。治験に参加し最先端の医療を身近に経験するという機会もたくさんありましたし、薬剤の開発に関わることもできました。こういった薬が効くのか、効かないのかという、薬剤の治療効果を見つけるような研究は大変興味深いものでした。

今までの経験をもとに、薬をうまく使ってより効果の高い治療をしていければと思います。
また、乳がん非常に有効な薬ですが、特定の医療機関しか取り扱いのできない薬剤があり、それをここでもつかえるようにしたいと思っています。



Q 地域の先生とどのような連携をしたいとお考えですか？

地域の先生とは病状だけの情報共有でなく、患者さんの価値観や人生観を共有していきたいと思います。また、乳腺の患者さんでも合併症があったり、遺伝性乳癌の場合、婦人科系や消化器系のがんにかかるリスクも高いので、地域の先生方には、かかりつけ医として日常の診察をお願いして、一緒に患者さんの治療に当たっていきたいと思っています。

Q 診察で大切にしていることは何ですか？

患者さんに合った治療を選びたいと思って診察しています。それにはやはり患者さんの人生観やライフスタイルを大切にすることだと考えます。
特に乳がんは若い女性の患者さんが多いので、将来の出産なども含めて、患者さんごとに一番合った適切な治療でかつ最新の治療を提供したいと思っています。

Q 患者さんとのコミュニケーションで心掛けていることは何ですか？

乳がんに関しては患者さん自身に治療を決めていただく場面が多いので、一方的にこちらが決めた治療というのではなく、相談しながら治療方針を決めていくということが大切です。
それには医師だけでなく、看護師や、薬剤師など様々な職種がかかわることが必要であり、チーム医療を信頼していただくことを意識しています。

乳腺センター医師紹介

阿部かおり 外科医長

2008年 京都府立医科大学卒業
綾部市立病院、
京都府立医科大学附属病院、
済生会吹田病院などを経て

2019年 大阪大学乳腺内分泌外科医員
2021年 大阪大学乳腺内分泌外科特任助教
2025年 箕面市立病院外科



（所属学会・資格）
日本外科学会 外科専門医
日本乳癌学会 乳腺専門医

山本仁 外科特任部長

1979年 大阪大学医学部卒業
2014年 箕面市立病院外科



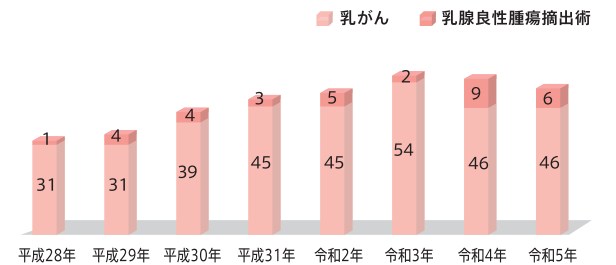
（所属学会・資格）
日本外科学会 外科専門医
日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医
日本乳癌検診学会

当院で実施している検査

- ・マンモグラフィー（トモシンセンスを含む）
- ・超音波・細胞診・針生検（受診当日に施行可）
- ・乳房MRI
- ・マンモグラフィーで発見した悪性を疑う石灰化病変に対するステレオガイド下吸引式乳房組織生検
- ・超音波検査で発見した微小病変に対する超音波ガイド下吸引式乳房組織生検



当院の手術件数



外来診療予約医師

	月	水	金
午 前	三好・阿部	阿部・山本	—
午 後	三好・阿部	阿部・山本	三好

医療機関の先生方におかれましては、検診で異常を指摘された、乳房にしこりを感じる、乳頭から分泌液がある、といった症状の患者さんがいらっしゃれば、ぜひとも、ご紹介いただきますようお願いいたします。